

# かわかんネット

発行：一般社団法人 東北河川管理技術研究会事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 18-25 シャルム二日町 3F

E-mail: triver@ae.auone-net.jp Tel: 022-398-8831 Fax: 022-398-8832

## 河川法改正（維持管理の義務の明確化）

河川法が一部改正され、河川管理施設等の維持・修繕の義務が明確化されました。

### 【河川管理施設等の維持・修繕】法第15条の2（平成25年12月11日施行）

#### 概要

- ・ 河川管理施設及び許可工作物を良好な状態に保つよう、管理者及び許可受者の維持・修繕の義務の明確化
- ・ 政令において維持・修繕の基準を策定

### 【関係政令】令第9条の3（平成25年12月6日公布、12月11日施行）

#### 概要

- ・ 河川管理施設等の構造を勘案し、適切な時期に巡視を行い、障害物の処分等の機能を維持するための措置の実施
- ・ 適切な時期に目視その他の適切な方法で点検の実施
- ・ 省令で定める施設は一年に一回以上の適切な頻度で点検
- ・ 損傷、腐食等の異状把握時の措置の実施

### 【関係省令】規則第7条の2（平成25年12月11日公布、12月11日施行）

#### 概要

- ・ 一年に一回以上の点検を行う施設は、ダム、堤防、可動堰、堤防の機能を有する水門・樋門等
- ・ 点検結果の記録、保存

## 東北河川管理技術研究会の活動

### 分科会の開催

堤防分科会・河道分科会 平成26年7月23日(水) 15時30分～17時30分

樋門樋管分科会 平成26年7月25日(金) 15時30分～17時30分

ダム管理分科会 平成26年7月28日(月) 15時30分～17時30分

討議内容については、次号にてお知らせします。

## 名取川・阿武隈川下流総合水防演習

「気をつけー。」「かしら一中。」「直れ。」の号令の元、いよいよ、総合水防演習開始。

この演習の目的は、出水期を前に、水防技術の向上を図ると共に、国・県・市町村及び防災関係機関の連携・協力の強化、地域住民の水防に対する理解と防災意識の高揚を図り、連携・協働して水害に強い地域をつくることです。



開会式 集合・整列

- 開催日時 平成26年5月25日(日) 8:20 ~ 12:00
- 実施場所 名取川右岸太白大橋上流(宮城県名取市高館熊野堂[たかだてくまのどう]地先)
- 実施した演習 情報収集伝達訓練、水防工法訓練、避難訓練、救助・救護訓練、緊急排水訓練他
- 参加機関 43機関(後援除く)
- 参加者 土井国土交通大臣政務官、村井宮城県知事、佐々木名取市長をはじめとする約2,500人(来賓及び一般見学者含む)

政務官、県知事、陣内全国水防管理団体連合会会長の挨拶に続き、演習本部長の小池東北地方整備局長より訓示が行われました。

演習は、台風第6号の北上と停滞している梅雨前線の活動により、総雨量が400mmを超える想定です。

そのため、名取川、阿武隈川では、水位の上昇が続き、上空から防災用ヘリ「みちのく号」が、地上では、河川パトロールカーが巡視を開始。

名取市の消防パトカーが、堤防に大きな損傷＝亀裂を発見、水防団が出動して、箆止め工、五徳縫工を、名取川堤防の崩落個所には、杭打ち積土のう工、木流し工を実施しました。また、漏水個所では、釜段工を、堤防から河川水が溢れる恐れのある個所では、積土のう工、改良積土のう工が実施されました。

体験水防では、仙台市立仙台工業高校土木科の1年生、政務官、知事、市長、局長などの水防関係者も、積土のう工を体験されました。そのサポートに防災エキスパート(東北河川管理技術研究会会員)が、参加し、これまでの経験に基づく適切なアドバイスをを行いました。



月輪工



杭打ち積土のう工



改良積み土のう工

東日本大震災では、水防団・消防団の多くの方々が、住民の避難誘導中や水門などの閉鎖中に津波の犠牲となりました。本当に痛ましい出来事でした。その状況を踏まえ、H23.12に水防法が改正され、水防・消防団員を含むすべての人が命を守るため、避難行動を優先的に行うこととなりました。この緊急避難訓練も行われ、「命を自ら守る」ということを実践、総合水防演習の第1部が終了。

第8回東北水防技術競技大会が実施され、東北6県の各県代表による水防技術の速さ、正確さを競う競技です。弘前市消防団(青森)、花巻市消防団(岩手)、東松島市消防団(宮城)、大仙市消防団(秋田)、鮭川村消防団(山形)、本宮市消防団(福島)の各県代表チームです。競技工法は「月の輪工」「シート張り工」です。

水防演習第2部開始。

住民・企業による自主防災活動の訓練が、スタート。

市営地下鉄長町駅では、駅構内に水が入らないように、止水板で入口を塞ぐ訓練とサッポロビール仙台工場では、敷地への浸水を防止するため、積土のう工を実施しました。

通勤の行き帰りに同工場の脇に積まれている大型土嚢を見て、なるべく、その土のうが、利用される事態が来なければいいかと願っています。

住民も避難場所に避難しました。県内に大雨特別警報が発令され、JR東日本では、東北本線の一部で運行規制も行いました。



「破堤しました。」との情報を牧仙台河川国道事務所長から受け取った佐々木名取市長は、『なとり災害FMならじ801』などを通じて、市民に避難を呼びかけ、牧所長は、小池局長に TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の出動を要請し、名取市長は、市内の災害、氾濫被害の大きさを踏まえ、県知事に自衛隊の派遣を要請しました。

仙台河川国道事務所では、現地災害対策拠点を確保するため、災害対策車を出動させました。宮城県警のオフロードバイク隊が建物の屋上や中洲に取り残された人を発見。県警機動隊や仙台市消防航空隊による人命救助を行いました。救助者は、直ちに日本赤十字社の救護テント内で、応急処置を受け、救急車で搬送されました。洪水により、流出した橋の応急架橋を自衛隊が、破堤した堤防の応急復旧訓練は、国土交通省によるブロック投入による緊急復旧、浸水地域の排水を排水ポンプ車による排水訓練をしました。また、支援物資の輸送訓練も、みやぎ生協により、行われました。



閉会式では、水防技術競技会の成績が発表され、最優秀賞は、本宮市消防団(福島代表)、優秀賞は、鮭川村消防団(山形代表)が受賞しました。おめでとうございます。

高館小6年生による水防レポートの報告がありました。

最後に鈴木河川部長より講評があり、本日の総合水防演習、全てが終了。

災害は、いつも、突然やってきます。頭で考えて動く時間はありません。自らの命は自ら守る、これは、訓練しかありません。万が一、このようは状況でも冷静にかつ、迅速に行動しましょう。みんなのため、自分のために。



仙台市立高館小6年生



解説者 大嶋氏、島貫氏



アナウンス・レポーター

( 島貫 徹 記 )

## 研究会動向

### 平成26年度 第5回通常総会を開催

第5回通常総会を平成26年6月24日(火)公益ビルにて開催し、平成25年度事業報告及び決算報告書、平成26年度事業計画(案)及び収支予算書(案)が承認されました。

また、



#### 1. 動向

- 1) 平成25年度 第3回理事会<平成26年3月20日>
- 2) 平成26年度 第1回理事会<平成26年6月11日>
- 3) 平成26年度 第5回通常総会<平成26年6月24日>
- 4) 平成26年度 第2回理事会<平成26年6月24日>

#### 編集後記

本研究会も5回目の総会を無事終えることができました。

分科会は、昨年度に新たにダム管理分科会を設置し、4分科会となりました。今年度は、特に分科会活動に力を入れてゆきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

(編集 事務局)